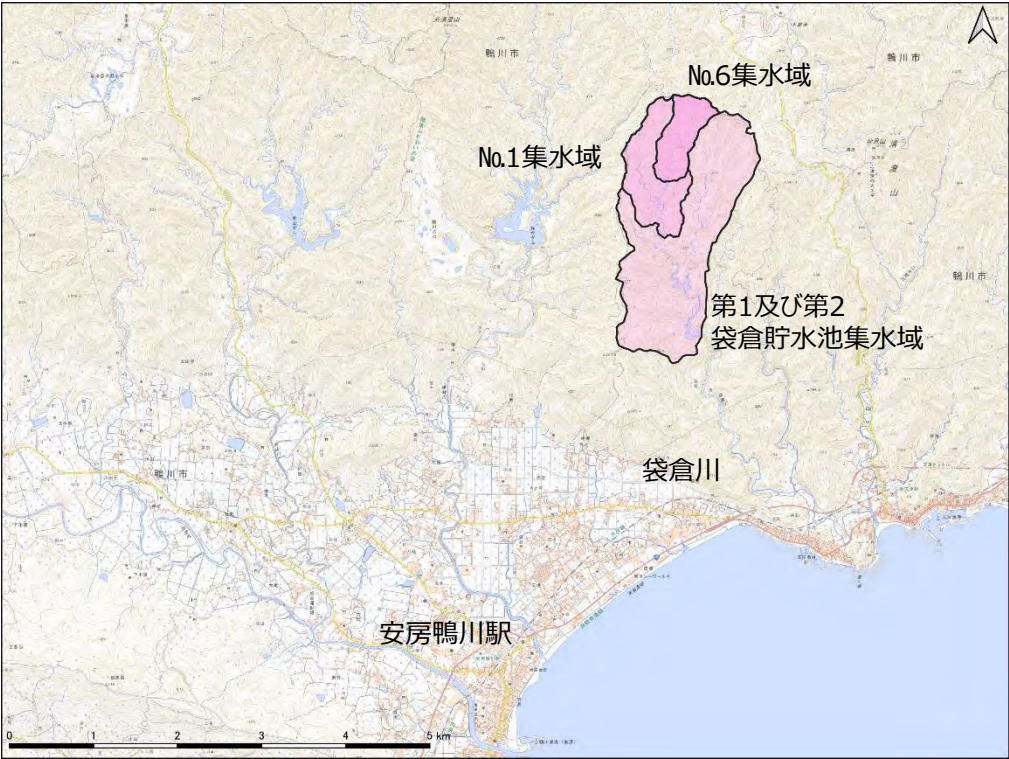


# 9.千葉県-①.鴨川市西町

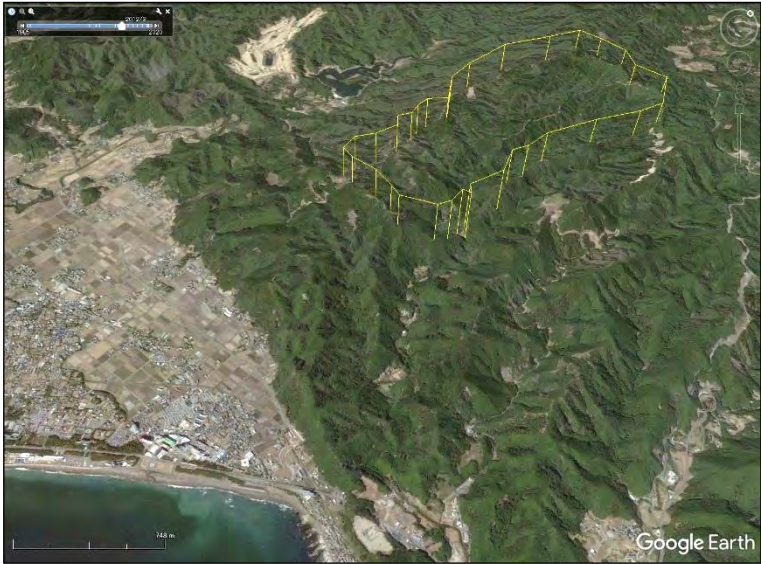
## (1) 概要



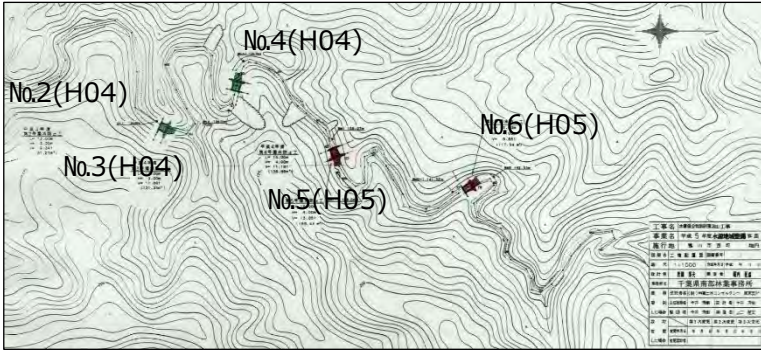
施工地の位置図

水質保全特別対策によって平成4年に4基、平成5年に2基の合計6基が、濁水防止工として袋倉川沿いに施工された。最下流のNo.1施設の集水面積が113.5ha、最上流部のNo.6施設の集水面積は42.4haとなっている。

保全対象の第1及び第2袋倉貯水池は、鴨川市の水道用貯水池(集水面積357.3ha)となっている。貯水池等保全タイプの濁水移動域における透過型として区分した。なお、施設施工手段が不明であり、仮設道路は確認できず、容易に到達できない立地にある。



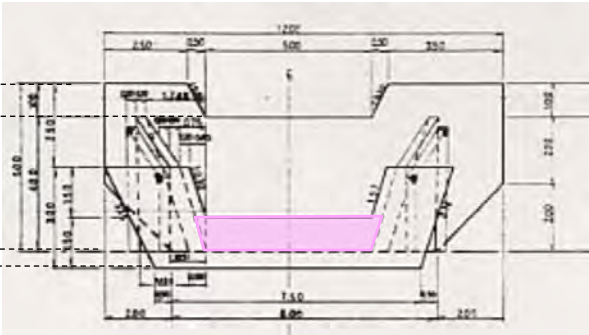
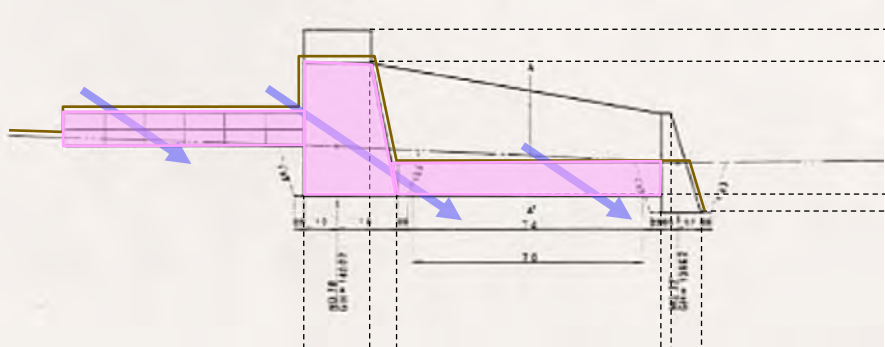
集水域の鳥瞰イメージ



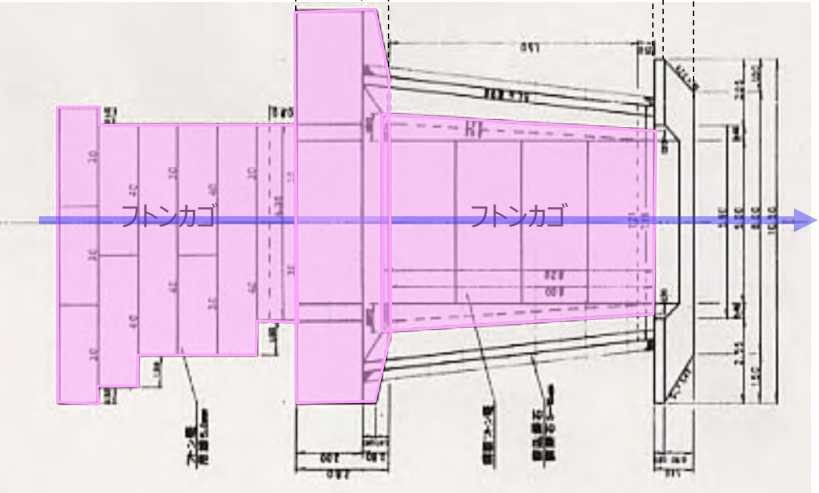
平面図

# 9.千葉県-①.鴨川市西町

## (2) 施工当時の状況



- ← 流下・浸透方向
- 透過部(鋼製枠・フンカゴ)
- 洪水時・目詰まり時湛水部



鋼製自在枠治山ダム      コンクリート前堤

施設構造図

平成4年の4基、平成5年の2基ともに、上図と同様の構造となっている。本堤は鋼製枠ダムであり、その構造に接続して上流部にフンカゴを配置し、浸透促進構造となっている。本堤下流部も同様に浸透促進構造となっているが、前庭がコンクリート構造のため、ある程度沈砂の役割も果たしていると想定される。